

2017.07

夏

No 09



医療法人 新光会



# HEART NEWS ハートニュース



## 村上記念病院

内科 泌尿器科 リハビリテーション科  
人工透析 訪問リハ 通所リハ 禁煙外来

当院では、地域の皆様にとって身近な「かかりつけ医」としてお役に立てるよう、地域医療に取り組んでおります。新潟県村上市に位置し、その風光明媚な土地柄を活かし最適な療養環境を提供させていただきます。特色といいたしましては、人工透析センターと療養病床を併せ持ち、全国的にみても数少ない慢性維持透析の入院加療が可能です。もちろん通院透析も可能ですが、疾病により通院が困難でお困りの透析患者様におかれましては、是非一度ご相談いただければと存じます。

また、皆様の在宅復帰、また身体機能維持のためのリハビリテーションに係る環境・スタッフ等の充実を図り、地域の皆様に信頼される病院となれるよう、取り組んでまいります。

**TEL:0254-52-1229**

<http://www.shinkohkai.jp/murakami/>



訪問・通所リハビリテーション

充実した

理学療法

作業療法

言語聴覚



当院の訪問リハビリテーションは「理学療法士」「作業療法士」「言語聴覚士」の専門職が、充実した体制で、直接、訪問し、機能回復や維持のため、機能訓練や日常生活に直結した訓練(トイレ動作・更衣動作・食事動作など、飲み込みやコミュニケーションに対する訓練)を、利用者様やご家族の希望を基に実施しています。また訪問時には、家族に対する介助方法や運動の指導、住宅改修や福祉用具についての相談など、利用者様の状態や環境をふまえて実施します。

通りでのリハビリは「短時間(1~2時間)でリハビリ機能に特化した通所リハビリテーション」です。利用者様の日常生活動作において、自立または身体機能の維持・向上を目指しています。「住み慣れた地域で、その人らしい生活」をしていただけるよう、支援させていただきます。

リハビリを受けるには、主治医の許可が必要です。主治医にご相談の上、担当のケアマネージャーとご相談ください。



人工透析センター

患者さん一人一人に合った  
透析治療を目指しています。

当院は人工透析センターと療養病床を併せ持ち、全国的にみても数少ない慢性維持透析の入院加療が可能となっております。患者さんの症状や病態に応じ、様々な種類の装置を用いて、個々の患者さんに合った透析医療を目指しています。また、入院透析に加え、昼間・夜間の外来透析も行っており、通院が困難でお困りの透析患者さんを対象とした送迎サービスも実施しております。ご希望の方は、是非一度ご相談ください。

栄養指導(透析患者)



血液透析の患者さんは、塩分・水分、カリウム、リンなどの過剰摂取に気を付ける必要がありますが、制限し過ぎると低栄養になる危険性も生じます。このように難しい食事管理に対応するため、当院では管理栄養士の上級資格である病態栄養認定管理栄養士(日本病態栄養学会による認定)が在籍し、随時、栄養相談を実施しています。

当院では、管理栄養士が透析室のベッドサイドで栄養指導を行っております。食事に関するお悩みがある透析患者さんは、主治医または透析室スタッフへ栄養指導を希望とお伝えください。また、血液透析患者さんを対象に、栄養に関する勉強会を実施しております。勉強会の開催や日程につきましては、栄養科までお問い合わせください。

看護イン턴シップ

当院は、近隣の看護学校の実習指定病院として、現在、透析室にて看護イン턴シップを実施しています。実際の看護師業務を間近で見学したり、看護師の先輩として聞きたいことを直接聞いてみたりと、今後の参考にしていただければ幸いです。看護イン턴シップ・病院見学は随時受け付けております。また、法人の看護奨学金制度に関するお問い合わせも歓迎します。まずはお気軽にお問い合わせください。





# 生田病院

訪問看護

その人らしく生活し自立していくこと

# Ikuta Hospital

生田病院訪問看護は、精神疾患のある患者さんが地域で「その人らしく生活し自立していくこと」を支援しています。現在、外来通院中の方もご希望があれば、患者さんの気持ちに寄り添いながら「生活の質」を高めることを共に考え地域で安心して生活できるよう支援していきます。訪問は作業療法士や精神保健福祉士と共に多職種チームで自宅やグループホームなど生活の場へ出向きます。それぞれの専門的視点からの情報共有を行い、アセスメントして支援計画を立て、患者さんのニーズに合わせた訪問看護が行えるように努めております。

生田病院訪問看護はこれからも、地域で生活する人が孤立しないように、多職種チームで地域の関係機関スタッフとも連携をとりながら患者さんにとって有効な支援を心掛けていきます。



- 信頼関係が大切ですので

  - ① 「言葉使いに気を付けます」  
貴重な時間を訪問のために待って下さるので
  - ② 「約束の時間を守ります」  
体調がすぐれない時もあるので
  - ③ 「受容的対応を心掛け、  
患者さんのペースに合わせます」

お問合せ  044-966-2151

# 伊豆平和病院

## 訪問リハビリテーション

住み慣れた環境の中で充実したりハビリ

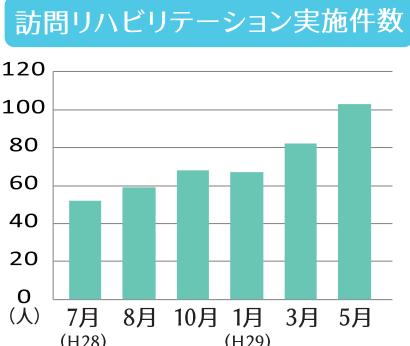
# Izu-Heiwa Hospital

当院では理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が訪問リハビリテーションに携わっております。地域の医療、福祉関係、また行政の皆様とも積極的に交流を深め、ご利用いただける方も増え件数も伸びてまいりました。今後も更なる地域への貢献を目指し、努力してまいります。



ご利用者の了解を得て訪問リハビリテーションの風景を撮影させていただきました。

住み慣れた環境で、利用者の方、また当院理学療法士にとっても充実したリハビリを行えております。



お問合せ ☎ 055-974-1355

# 伊豆函南病院

# Izu-Kannami Hospital

精神科訪問診療

通院が困難な方ご相談受け付けております。

地域医療の一環として平成28年4月1日より精神科訪問診療を始めました。函南を中心に伊豆の国市、三島市、熱海地域までが範囲となっております。精神疾患があり、寝たきりや、病状の悪化、家族支援でも通院困難な方が対象です。認知症の方でも精神の周辺症状が激しく通院が困難な方も対象とさせていただいています。ご相談をお受けしております。お気軽にご連絡ください。お問い合わせ 055-974-0121



6月21日(水)に病棟レクリエーションで稻取・中伊豆方面に外出しました。天気はあいにくの大雨でしたが、稻取の徳造丸では普段食べることができない海鮮丼を食べ、皆とても笑顔でした。その後行った伊豆市天城にある東京ラスクでは、工場見学よりも美味しいソフトクリームに夢中になっていました。



駐車場が利用しやすくなりました!

# 急速な高齢化社会の中、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために・・・



急速な高齢化や家族形態の変化に伴い、疾病を抱えつつも可能な限り住み慣れた地域で自分らしく暮らしが続けるため、一人ひとりの状態に合わせた適切で効果的な在宅医療・介護サービスの提供体制が求められています。

## 在宅医療の重要性

日本では今急速に少子高齢化が進んでいます。2000年には65歳以上の高齢者1人を、20~64歳の生産年齢人口3.6人で経済的に支える構造でした。それが今後の人口推移の予測では、2025年には1人を1.8人、2050年には1人を1.2人で支える構造となるとされています。そのような社会構造の変化において、日本の医療財政や医療システムを継続していくためには、今後在宅医療は重要な役割を担っていくことになります。

## 訪問診療の特長と役割

訪問診療は身体機能が低下し、通院が困難な患者さんに対し、医師が訪問し自宅で医療を提供します。病院へ入院する場合、決められた規則の中で生活しなければなりません。自分の希望を通すことは困難になります。しかし訪問診療なら、患者さんの病状や生活に合わせた医療が受けられます。

診療の形は様々で、今までお世話をいた先生のところへの通院は継続したまま、訪問診療も受けることがあります。また、通院できなくなったときに、時的に訪問診療に切り替え、通院できるようになつたら、元の先生のところへ通院する」ともできます。

## 状態に応じて選択が可能

身体全体の診察は訪問診療で受け、専門的な治療は専門病院で治療を継続することができます。また、専門病院が遠方ににあるなど、通院するのが大変なときに、普段は訪問診療を受け、専門病院へは3~6か月ごとに通院することも可能です。このように様々な病状や状態に合わせて選択することが出来ます。



### 訪問診療学習会を開催しました

6月20日

(火・玉川学園  
の「さくらんば  
ホール」にて、  
当法人理事長  
で町田内科クリニツクの院長  
・信行が「訪問診  
療」について講

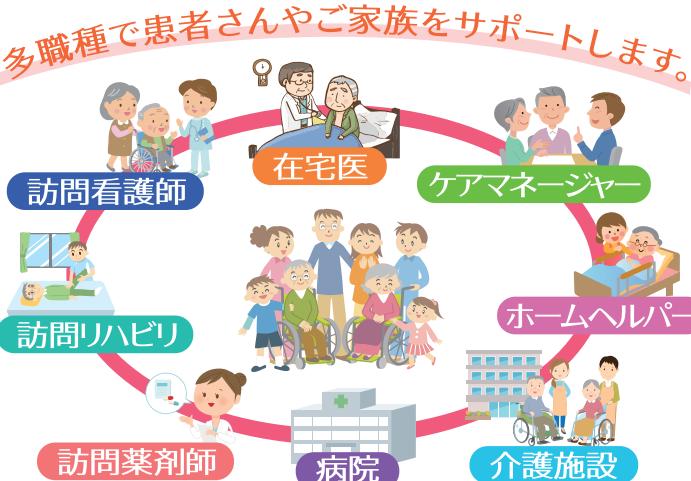
その後、グループに分かれて「訪問診療」をテーマにディスカッションを行いました。そこでは実際に自宅で訪問診療を利用しながら、「ご家族を見取った方のお話しゃや延命治療、訪問診療の利点・欠点についての質問等がありました。

患者さんがどう生きたいか、またどのような終末を迎えるのかをご家族と共によく話し合い理解した上で、訪問医として柔軟な対応をしていくことが大切であるとのお話しがありました。

当法人では、相談された方へ包括的かつ継続的な在宅医療・介護サービスを提供いたします。住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることをサポートする相談窓口を設けております。お気軽にご連絡ください。

お問い合わせ 在宅医療介護支援センター

070-5337-60958



6月14日(水)

午後1時半より、近隣にお住まいの方を対象に、「けんこう体操」がグループホームみのりの麻生にて開催されました。

みのり訪問看護ステーション百合ヶ丘の理学療法士による体操教室やケアマネジャーによる介護相談、看護師による健診チェックなどを行いました。けんこう体操では椅子に座りながら手と足を動かし、同時に数字を数えながら頭の体操もします。身体と頭と一緒に使うことで認知症予防に効果的のことでした。



6/1 優つくり・ラシユレ オリジナルしました!

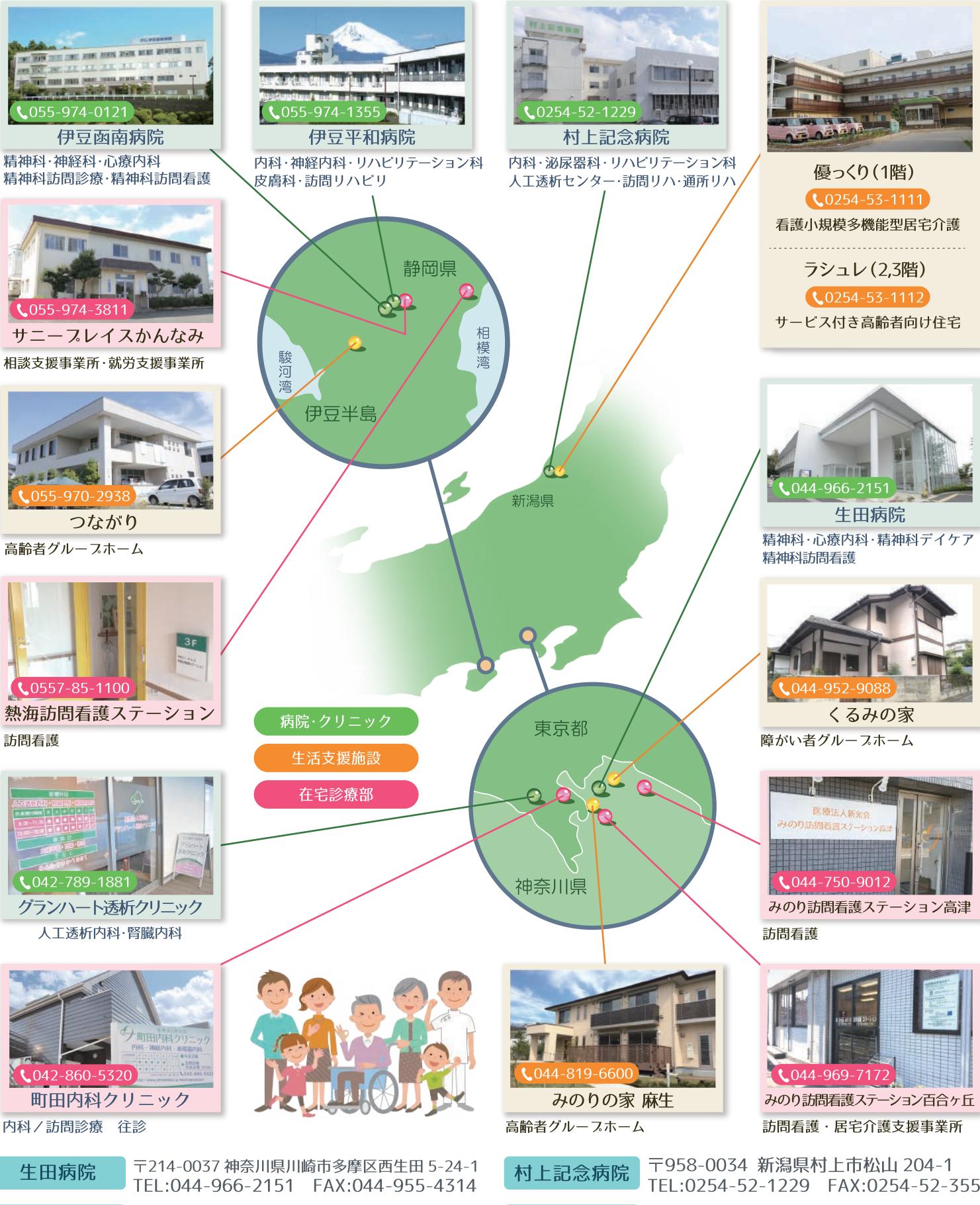
6/1

この度6月1日木、看護小規模多機能型居宅介護事業所「優つくり・サービス付き高齢者向け住宅『ラシユレ』」がオープンしました。先立ちまして5月27日(土)、オープンセレモニーと祝賀会、28日(日)に一般内覧会を行いました。式典では市関係者、医療介護関係者、建設に関わった事業者等をお招きし、約80人来場いただきました。「一般内覧会では、地域の住民のみなさんを中心とした、約300人の方々に足を運んでいただきたい」との想いを込めて、この恵まれた環境の中で地域のみなさんに愛されるサービスをご提供できるよう、スタッフ一同となって邁進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。





# 医療法人 新光会グループ



医療法人 新光会 法人本部 広報室発行

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺 1-1-1-402 TEL 044-969-2661 <http://www.shinkohkai.jp/>